



長崎市より視察団来訪 平成29年11月18日

長崎市の地域担い手の皆さん(長崎市職員を含む)総勢47名の方が地域自治活動確立の為、津屋崎地域郷づくり推進協議会の運営等について視察研修にお見えになりました。生憎の小雨降る寒い日でしたが、会場は豊村酒造殿の蔵をお借りし、福清市全体の郷づくりの状況を市役所職員から、津屋崎地域郷づくりの状況を山協会長から詳細にわたり説明がありました。皆さん熱心にメモを取られ、活発な質疑応答もあり、「とても参考になった。」といった声を頂きました。その後、松林ボランティアの皆さんによって綺麗に清掃された津屋崎海岸の松林を散策され、いい印象をお持ちになりお帰りになりました。今回の視察団の受け入れにご協力頂いた方々に感謝申し上げます。

藍の家前にて



津屋崎松林にて



豊利酒造酒蔵にて

活動予定

松林保全活動		歌いましょう		節分祭		白玉神社 初午祭		ふれあいサロン	
日時	毎月第2・4土曜日 8:00～ 2/10(土) 2/24(土) 3/10(土) 3/24(土)	日時	毎月第1火曜日 10:00～12:00	2/3(土)	11:00～	3/18(日)	7:00～12:00	日時	毎月第2・4火曜日 10:00～16:00
集合同所	夕陽館前の松林	場所	郷づくり交流センター	場所	波折神社	場所	白玉神社 須多田公民館	場所	郷づくり交流センター2F
	植樹祭は3/3(土)9:00より 環境部会				祭典終了後、豆まきを行います。 連絡先 :0940(52)0264		座料は、大人¥1,000- 子供¥500-です。須多田公民館に集合してください。		いろいろな玩具を揃えて、遊ぶ場所を提供しています。ご利用ください。

津屋崎千軒を未来につなぐ会からの経過のご報告

津屋崎千軒を未来につなぐ会が発足したのは平成28年6月10日。その後、津屋崎千軒のシンボルである豊村酒造の保存・活用に向けて皆様の署名・募金の協力などを得て、お陰様を持ちまして、平成29年4月にはNPO法人化し、行政や豊村酒造との協議、類似事例調査等の活動を行なっています。

皆様からの募金総額は平成29年3月末日時点において、1,308,539円となり、四月にその中から豊村酒造の歴史的価値の調査費として九州大学田上ゼミへ委託料として800,864円(手数料込)を払い込みました。余剰金507,675円については、法人格(経理の公開義務有り)となった津屋崎千軒を未来につなぐ会の活動費として有り難く、また厳正に管理させて頂いております。

まずは住民で一致団結をして行動したことにより行政の理解を得る事ができ、昨年11月には、大きな一歩として、市による「津屋崎千軒観光活性化事業」として煙突の保存の可能性調査や酒蔵の保存・活用調査、経済波及効果などについての調査が開始されております。

なお、田上教授による豊村酒造の歴史的価値に関する調査報告書は今年度中に提出される予定です。

今後も引き続き状況をお知らせしていきますので、引き続き応援の程何卒よろしくお願い申し上げます。

津屋崎千軒を未来につなぐ会

これまでの主な経緯

平成29年

1月20日 小山前市長へ署名提出

(署名数 6千余筆)

3月30日 NPO法人認証

4月11日 原崎新市長へ挨拶

5月～12月

津屋崎千軒を未来につなぐ会と市都市管理課との意見交換(全7回)

田上教授のコメント

大正期には九州一の出荷量を誇った清酒の製造元である。酒造の近代化を支えた産業施設として、また伝統的な大工技術を受け継ぐ地域の木工棟梁による和風意匠など貴重な建築遺産であると同時に、まちなみの構成資産としても極めて重要である。



活動報告

歌いましょう 平成29年12月5日

今回の「歌いましょう」はクリスマス会を行いました。クリスマスソングを流し、ビンゴゲームやじゃんけん大会は大変盛り上がりました。スタッフによる練習なしのぶっつけ本番の合唱も華を添えることが出来たようです。とても寒い日でしたが21人もの会員さんと私たちスタッフ12人で会場は熱気に包まれ、2017年最後の回をとびっきりの笑顔で締めくくっていただきました。

また、来年もこの津屋崎郷づくり交流センターで、皆さんが楽しい時間を過ごしていただく交流となるよういろいろな活動を展開していきたいと思っております。

まだ参加されたことがない方、是非一度足を運んでみてください。

福祉部会



地域活動の記事を募集中!!

郷づくりホームページ「つやざきホットニュース」
今後の予定を掲載中